

オロロジカル・マシン No.3

警告！ オロロジカル・マシン No.3(HM3)は、時刻を知らせるだけの従来の時計の常識からかけ離れているため、人はその衝撃を受け止めきれないかも知れない。まず最初に、本来なら裏側にあるべきはずのムーブメントが大きな数字の半円に囲まれ、時計の表側で誇らしげに動いている様子が注意を引く。しかしその状況を呑み込む間もなく次に目に飛び込んでくるのは、彫りが深く立体感のあるケース上に堂々とそびえ立つツイン・コーン(二つの円錐台)。このダイナミックな彫刻が、実は日時を知らせる非常に複雑な腕時計であるという事実を把握するのに苦勞する人が多いのも無理はない。

MB&Fの世界へようこそ！

個性を大切に人は選択の自由を求める。そこで、HM3には2つのバージョンが用意されている。腕に対してコーンが垂直に並ぶ「Sidewinder」と、腕と水平にコーンが並ぶ「Starcruiser」。どちらのバージョンも非常に特徴的なビジュアルを持ち、独自の形で時間を伝えてくれる。

ツイン・コーンはそれぞれ時と分を示し、時を示すコーンの上部平面には昼／夜が表示されている。特大の日付ホイールには大きく読み易い数字が並び、ベゼルに端正に刻まれた三角形の印が日付を知らせてくれる。

その中央にある見事に仕上げられたムーブメントは、まるで壮観な野外シアターのように、揺れ動くバトル・アックス型の自動巻きローターや高速で振動するテンプで見る者に衝撃を与え、その視覚を魅了する。

時計を裏返すとHM3の反転ムーブメントを支えるテクノロジー、2つの大きなセラミック・ベアリングが動力をコーンと日付ホイールへ効率的に送っている姿が明かされる。

MB&Fについて

数十年に渡り、企業という枠組みの中で時計作りを学んだマキシミアン・ブッサーは、その型を破りMB&Fという反乱を起こした。MB&Fはマイクロ・エンジニアリングをコンセプトにした芸術的な研究所で、斬新なオロロジカル・マシンを設計・制作するために毎年召集される独立した時計のプロ集団である。この大胆なプロジェクトがもたらす効果は奥が深い。伝統を重んじながらもそれに縛られることのないMB&Fは、伝統的で高品質な時計作りと最先端技術を融合し、立体的な動く彫刻を生み出している。

MB&Fの時計革命の第三章であるオロロジカル・マシン No.3は、冒険と興奮、そして情熱の物語なのである。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

オロロジカル・マシン No.3

閃きと具現: オロロジカル・マシン No.3 は、美しく仕上げられたムーブメントの動きを見せるために開発された。調和のとれたブリッジ、高速で振動するテンプと歯車、そして独特なバトル・アックス型の自動巻きローターの全てを外から見るができる。これにより、着用者は HM3 を構成する芸術と技術を堪能することができ、300 以上の高精度部品から成る非常に複雑なマシンの内部は周囲の人をも魅了する。

HM3 のムーブメントは文字通り反転しているので、途切れることなく純金の巻取ローターが描く優雅な弧と、テンプの高速振動の全景を見ることが出来る。ブッサーとデザイナーのエリック・ジルーによるスケッチとデザインを時計として具現化する使命は、2007 年度ジュネーブ時計グランプリで新設されたベスト・ウォッチメーカー・アワードの初代受賞者であるジャン＝マルク・ヴィーダーレヒトに託された。アジェノー社にいる自分のチームと共にこの課題に取り組んだ彼は、期待以上の結果をもたらしてくれた。

Starcruiser と Sidewinder: MB&F のオロロジカル・マシンは、芸術、技術、卓越性、独占性...そして選択の自由を求める個性的な人たちのための時計である。要求度が高い熱烈なファンの声に応えるために、オロロジカル・マシン No.3 には2つのバージョンが用意されている。腕に対してコーンが垂直に並ぶ Sidewinder と、腕と平行にコーンが並ぶ Starcruiser。そのどちらもが、未来のオーナーと同じように、極めて独特で個性的なデザインとなっている。

表示: 立体感のあるコーンは運転をしてもキーボードを打っていても一目で時間を知らせてくれるが、過去にこのような設計を採用した時計はなく、乗り越えなければならない課題がたくさんあった。頂点を切り取ったようなコーンの上部平面は、最高の耐水性を確保するために接着ではなく、ろう付けされている。また、時と分を示す赤い「針」は構造上、驚異的な精度を確保すると同時に極限まで軽量化が要求されたため、レーザーカットされている。

特大サイズの日付ホイールは、ムーブメントよりも直径が大きい。これにより、とても読み易い縦 2.5mm の数字をゆったりと並べることが可能となった。ベゼルの上端に端正に刻まれた三角形の印が日付を示す。

ミステリー・ローター: HM3 の文字盤部にある一際目立つ 22K 純金のバトル・アックス型ローターは、すでに MB&F の象徴とも言えるこのローターの認知度をさらに高めることになるだろう。このローターが「ミステリー」と呼ばれるのは、本来ならば左右の重量が非対称であるべきローターが物理の法則に逆らい、左右対称にバランスされているように見えるからである。これは、機械加工で片方のアームの底面を極限まで薄くし、重量を減らしたことにより実現された。

オロロジカル・マシン No.3

技術革新:

セラミック・ベアリング: 普通であれば、時間表示はムーブメントの上部、または文字盤側にある。HM3 のムーブメントはその動きが見えるよう反転しているため、動力をムーブメントの底面から時計のフェースにあるコーンと日付ホイールへ伝える効率的な解決策が必要となった。

宝石にはめ込む従来の歯車あれば、複雑で摩擦が生じる歯車装置が必要となり、また、上下を宝石で支える必要がある—これでは、ムーブメントに厚みが出てしまい、時計自体の厚みも増してしまう。そこで HM3 には、宝石にはめ込む従来の歯車の代わりに、直径の大きな(15mm)2つのハイテク・セラミック・ベアリングが採用されている。直径が大きなベアリングを使用することで歯車の数、ひいては摩擦を最小限に抑えることができた。また、超高精密設計と製造に剛性を得たベアリングは底面を支えるだけでよく、より薄いムーブメントを作ることが可能となった。

大きな日付: 特大の日付リングはムーブメントより直径が大きい。このデザインにより、大きく読み易い数字(縦 2.5mm)を並べることが可能となったが、数字同士の間隔が広がってしまい日付の調整を可能にするためにかなりの工夫が必要となった。リユーズを使って日付を操作するためにはプッシャーが必要となるが、プッシャーの運動距離はたったの1ミリである。これは1つの日付から次の日付へとホイールを動かすのに必要な4ミリよりずっと短い。そこで、効率的な歯車装置を使ってプッシャーの運動距離を4倍に増幅させる精巧なシステムが開発された。

サファイアコーン: これまで、時間を表示するのに立体感のあるコーンが使われたことはない。そのような製造は不可能と言われていたので当然と言えば当然である。しかし、幸いある業者が MB&F が提示した難題に挑み...それを解決した。苦労したのはコーンの成形自体ではなく、もともと半透明な円錐の内側を透明になるまで磨くことだった。半透明のコーンのキャップは金の縁までろう付け(高温はんだ付け技術)されている。この技術は、見た目も美しく、また、堅牢な耐水設計を保証している。

ネジ山: 完璧さはディテールにあり。形は機能に追随する。これらの言葉は、なぜ MB&F が化粧ネジのネジ穴をデザインしなおしたのか、そしてなぜネジ穴が珍しいクローバーの形なのかを説明している。先の鋭いネジ穴には、磨き上げられた金のネジを傷つけてしまうような先の鋭いドライバーが必要となる。HM3 の丸みを帯びたクローバー型のネジ穴は、目に美しいだけでなく、ネジを傷つける可能性を低くしている。オロロジカル・マシンはマイクロ・メカニカルな芸術作品であるため、各部品の見たと機能が最高でなくてはならないのだ。

ケースと仕上げ: 完全にオリジナルなデザインもさることながら、二つの表示計、マット面と研磨面の意表を突く組み合わせ、象徴的なミステリー・ローター、そして傾斜のあるケースは、HM3 が間違いなく純度 100%のオロロジカル・マシンであることを保証してくれる。

*「ハイパースペースを移動するのは、農薬を撒き散らすのとはわけが違うんだぜ、坊や。」
スターウォーズのハン・ソロ*

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33



オロジカル・マシン No.3 - 技術仕様

ムーブメント:

アジェノー／ジャン・マーク・ヴィーダーレヒトにより設計された3次元オロジカル・エンジン
ソーウィンド社製オシレーターおよびギア

バランス振動数 28,800 振動／時

22kローズゴールド バトル・アックス型「ミステリー」自動巻きローター

時間と分の情報は、セラミックのボールベアリングを經由してレーザーカットされた針に送られる

宝石数:36石(全てが機能上のもの)

部品数:304

機能:

時・昼／夜:左コーン(Starcruiser)および下コーン(Sidewinder)に表示

分・秒:右コーン(Starcruiser)および上コーン(Sidewinder)に表示

日付:ムーブメントの周囲に表示

ケース:

2バージョン: Starcruiser (コーンが腕と平行して並ぶ)

Sidewinder (コーンが腕に対して垂直に並ぶ)

両バージョンとも、18k ホワイトゴールド／チタンまたは 18k レッドゴールド／チタンから選択可能
ネジ式リューズ

寸法(リューズおよび突起部分を除く):47mm x 50mm x 16mm

ケース構成部品数:53(Starcruiser)または57(Sidewinder)

サファイアクリスタル:

コーンおよび両ディスプレイ前面部と背部 両面ともに反射防止加工

ストラップおよび留め金:

18k ゴールドをあしらった黒の手縫いワニ革およびカスタムデザインのチタン製留め金

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33



オロロジカル・マシン No.3 を作った“フレンズ”

コンセプト: マキシミアン・ブッサー / MB&F

製品デザイン: エリック・ジロー — エリック・ジロー・デザイン・スタジオ

技術・製造管理: セルゲ・クリクノフ / MB&F

ムーブメント開発: ジャン=マルク・ヴィーダーレヒト / アジェノー、ニコラス・シュタルダー / アジェノー

ムーブメント製造: ジョルジュ・アウエール / メカウォッチ、サルバトーレ・フェラロット / APR クオリティ

セラミック・ボールベアリング: パトリス・パリエッティ / MPS

ムーブメント組み立て: ディディエ・デュマ / MB&F、ジル・ダロ / アジェノー

ケース、留め金の構成および製造: フィリップ・マルティ、ドミニク・メニエ、スタファヌ・ロム / G.F シャトゥラン

サファイアのコーン: セバンスチャン・サンシュ、グレゴリー・エスリック / スバル、ピーター・ボレシュ / ボレシュ

文字盤: フランソワ・ベルンハルト、デニス・パレル / ネイトバー

針: ピエール・シリエ、イザベル・シリエ、フェリックス・セレッタ / フィドラ

ストラップ: オリヴィエ・ピュルノ / カミーユ・フルネ

化粧箱: フレデリック・ルジョンドル / レコニ、イザベル・ヴオドー / ヴオドー

コミュニケーション:

グラフィック・デザイン - アルボン・トーマス、ジェラルド・ムリエール / GVA スタジオ

製品撮影 - マーテン・ファン・デア・エンデ

ディスプレイ構成 - フレデリック・ルジョンドル / レコニ

ポートレート撮影 - レジス・ゴレ / フェデラル

ウェブマスター - ステファン・バレット、ギローム・シュミッツ / スモー・インタラクティブ

テキスト - イアン・スケラーン

プロジェクトマネージャー - エステル・トネリ / MB&F

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33



MB&F — コンセプト・ラボの起源

時計部門の責任者としてハリー・ウインストンに在籍した7年間で、マキシミアン・ブッサーに最高の喜びと達成感を与えてくれたプロジェクトは、才能溢れる独立時計師と共に取り組んだ刺激的なオーパス・シリーズであった。その中ではっきりと見えてきたブッサーの独自の理想郷。それは自身が尊敬し、仕事を共にして楽しかった才能あるプロフェッショナル達と型破りなコンセプトを持つ小規模な腕時計シリーズの設計・制作に専念できる会社の設立であった。企業家としての一面も持つブッサーはその理想郷を現実のものとした。

MB&F は腕時計のブランドではなく、マイクロ・エンジニアリングをコンセプトにした芸術的な研究所であり、斬新なオロジカル・マシンを設計・制作するために毎年召集される独立した時計のプロ集団である。伝統を重んじながらもそれに縛られることのない MB&F は、伝統的で高品質な時計作りに最先端技術やアバンギャルドな立体彫刻を融合させる媒体となっている。

独立した人たちのために創作する独立した集団。それが MB&F である。

マキシミアン・ブッサー — バイオグラフィー

イタリアのミラノで生まれたマキシミアン・ブッサーは、その後、間もなくしてスイスのローザンヌへ移り住み、そこで青年時代を過ごす。多文化な環境と家族の中で育ったため—父親はスイスの外交官で、インド国籍の彼の母親とボンベイで出会っている—ブッサーは自身の人生とビジネスに対し異文化的な幅広いアプローチを取るようになった。

2005年7月、38歳の時に世界初となる時計のコンセプトブランド、MB&F(マキシミアン・ブッサー & フレンズ)を設立。設立当初は自身が唯一の株主であったが、現在はセルゲ・クリクノフをパートナーに迎えている。気の合う仲間と構成された少数のハイパークリエイティブなグループで協力し、型破りな時計のコンセプトの開発に専念できる自身のブランド。それが、ブッサーが MB&F に抱く夢である。MB&F は 2006 年に最初の時計、オロジカル・マシン No.1(HM1)を発表して以来、2007 年には HM2、そして 2008 年には HM3 を発表しており、現在もより型破りな「マシン」を開発中である。

企業活動はマキシミアン・ブッサーの得意分野である。1998年、彼は弱冠31歳でジュネーブにあるハリー・ウインストンレア・タイムピース社のマネージング・ディレクターに任命された。7年間の任期中、戦略、製品、マーケティング、そして世界規模の流通を開拓すると同時に、デザイン、研究開発、製造を社内で統合し、ハリー・ウインストンを広く認められた本格的な高級時計ブランドへと成長させた。その結果、売り上げは900%増加し、ハリー・ウインストンは競争が厳しいこの業界のリーダーの一員となった。

マキシミアン・ブッサーの最高級時計への愛着は、ハリー・ウインストンよりも以前に、彼の最初の職場となるジャガー・ルクルトで確立された。1990年代に彼がシニア・マネージメント・チームに在籍し、製品管理・開発からヨーロッパ地域の販売及びマーケティングに至るまでを担当していた7年間で、JLCはその地位を大きく向上させ、売り上げを10倍に伸ばした。

ブッサーは1991年にスイス連邦工科大学ローザンヌ校のマイクロ・テクノロジー・エンジニアリングの修士課程を卒業している。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33